

芦屋市就学前児童（0～5歳）将来人口推計報告書の訂正について

下記のとおり、表記に一部誤りがありましたのでお詫びして訂正いたします。（下線部分が訂正箇所）

	(正)	(誤)
10 ページ上部 「地形」の内容	北端は六甲山系の山地で、 <u>標高は約 835m</u> で南に向けて斜面地を形成している。住宅地が始まる山手町付近では <u>約 122m</u> で、南端の業平町は <u>約 14m</u> の緩斜面地である。	北端は六甲山系の山地で標高 <u>850m</u> あり、南に向けた斜面地。住宅地が始まる山手町付近では <u>標高 100m</u> で、南端の業平町は <u>標高 40m</u> 前後の緩斜面地である。
12 ページ上部 「地形」の内容	域内の北端は標高約 <u>200m</u> で、南に向けて斜面地を形成し、翠ヶ丘町は <u>約 28m</u> 、南端の楠町は <u>約 12m</u> である。	北端の六麓荘町は標高 <u>200m</u> あり、南に向けて斜面地を形成し、翠ヶ丘町は標高 <u>40m</u> 、南端の楠町は <u>20m</u> 程度である。
14 ページ上部 「地形」の内容	域内の北西端が標高約 <u>130m</u> で、南東に向けて斜面地を形成し、東山町の南東端は <u>約 19m</u> である。	北端は標高が <u>100m</u> で南に向けて斜面地を形成し、東山町の南端は標高 <u>60m</u> 程度である。
16 ページ上部 「地形」の内容	域内の北端が標高約 <u>13m</u> で、南に向けて緩やかな斜面地を形成している。	北端は標高 <u>40m</u> あり、南に向けて緩やかな斜面地を形成している。
18 ページ上部 「地形」の内容	域内の北端が標高約 <u>11m</u> で、南に向けて緩やかな斜面地を形成している。 <u>南端は約 2m</u> で、旧海岸線である。	域内は標高 <u>25m</u> 前後で、南に向けて緩やかな斜面地を形成している。 <u>南端は、旧海岸線</u> である。
20 ページ上部 「地形」の内容	域内の北端が標高約 <u>11m</u> で、南に向けて緩やかな斜面地を形成している。 <u>南端は約 2m</u> で、旧海岸線である。	域内は標高 <u>25m</u> 前後で、南に向けて緩やかな斜面地を形成している。 <u>南端は、旧海岸線</u> である。
20 ページ上部 「鉄道駅」の内容	域内に最寄駅はないが、阪神打出駅へは阪急バスで <u>結ぶ</u> 。	域内に最寄駅はないが、阪神打出駅へは阪急バス（大東町から）で <u>結ぶ</u> 。